



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立八軒小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

●にじいろ図書館おはなし会

にじいろ図書館25周年記念として、全校一斉で大型絵本「じごくのそうべえ」の読み聞かせを行いました。



司書さんをはじめ、保護者の方や教員が役になりきって演じました。児童はそうべえの世界に浸ることができました。また、朝の読み聞かせも復活し、各クラスで保護者の方や教員が絵本の読み聞かせを行いました。本のよさにふれ、図書館に本を探しに来る児童が増えています。

●にじいろまつり

にじいろまつり期間中に本を借りるとしおりをもらうことができます。手作りのかわいしおりをもらえるのも、児童の楽しみの一つです。このおまつりを通して、本をより身近に感じてもらうことがねらいです。



学習センターとしての機能

●各教科の学習で活用

国語や社会、総合的な学習の時間などで図書館を活用しています。4年生総合「世界へ飛び出そう」では、各国について書いてある本を、6年「発見、日本文化のみりょく」では、百人一首や和楽器などについて書いてある本など、図書館の本を使って調べ、まとめました。その際、図書館からまとめて本を借り、児童が手に取りやすいようにしました。

また、国語のお気に入りの本を紹介する単元を生かして、本の紹介文を書く取組を行っています。各学年、自分のお気に入りの本を思い思いに紹介していました。



情報センターとしての機能

●児童が本を紹介し合う

読書月間中に、全校一斉に本を紹介するワークシートを掲示しています。発達段階に合わせて、絵や文でお気に入りの場面などを紹介しています。また、校内放送でも本の紹介をしています。紹介された本を探しに、図書館に足を運ぶ児童も増えています。



●図書委員会による図書館宣伝

本年度の図書委員会では、全校の図書館利用を増やすためにスタンプ増量キャンペーンや貸し借り大会などを企画しました。イベントを通して、図書館を利用する児童が増え、読書や学習で本を活用できることを知る機会になりました。